



# 玉島っ子だより

第23号 令和8年1月29日

文責：校長 森田 祐香

【学校教育目標】 **たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう子どもの育成**

## にこにこ集会で「いいところみつけ」をしました！

1月14日(水)、縦割り班ごとに分かれ「いいところみつけ」をしました。これまでも、学級や全校で取り組んできましたが、今回は、縦割り班全員へ、それぞれの良さをカードに書いて伝え合う活動でした。自分のよいところがたくさん書かれたカードを見ている子どもたちの表情はとても素敵で、体育館全体が温かい空気に包まれているように思えました。

自分のよさは案外気づいていませんが、友だちから伝えられることで、よさに気づくことができ、ありのままの自分のことを好きになり、それが自信となって、自分らしさを発揮できる子に育っていくと思います。そして、それぞれがかけがえのない存在であることを感じる事ができ、より一層ステキな集団へと高まっていくことが期待できます。今後も「ほめるから、はじめる。はじまる。」(県教委の合言葉)の言葉通り、たくさん褒めて育てていきます。ぜひ、ご家庭でも、お子さんをたくさん褒めていただければと思います。



## “玉島小のシンボルマーク晩白柚”の収穫をしました！

1月26日(月)、6年生が晩白柚の収穫をしました。晩白柚の苗を植えてくださった、野崎英子先生と、収穫方法を教えてくださる上野勉さん(シトラスプラス代表)を講師としてお招きしました。収穫の前に、26年前に植えられた晩白柚が、今日まで大きく育ってきた歴史を紙芝居「晩白柚物語」とし、6年生が全校に読み聞かせをしました。5・6年生が作成したこの紙芝居は、シンボルマークの晩白柚とともに、後進へ引き継がれ大事にされることでしょう。

晩白柚は、1年かけて、大きな実となり黄金の色を輝かせ、今年は、77個実りました。現在、採れたて晩白柚が、職員玄関に並べられ、みずみずしく爽やかな香りがあたり一面広がっています。晩白柚は、2・3週間経つとより甘みを増すそうです。しばらく学級に並べて香りを楽しんだ後、全校児童がそれぞれに持ち帰ります。ご家庭でも香りと味をご堪能ください。

